



2014

カナザワ映画祭

KANAZAWA FILM FEST 2014

9.12(金)~15(月・祝) 金沢都ホテル B2F セミナーホール(旧ロキシー劇場)



鈴木則文監督追悼



今年5月15日、日本を代表する娯楽映画の職人・鈴木則文監督が亡くなりました。星空の下の大きなスクリーンで代表作『トラック野郎』を鑑賞し、花火を見るように追悼しましょう!

トラック野郎

野外上映&デコトラ展示 **度胸一番星**

鈴木則文… 1933年静岡県生まれ。『大阪ど根性物語 どえらい奴』で監督デビュー後、『緋牡丹博徒 一宿一飯』、『関東テキヤ一家』シリーズ、『女番長』シリーズ、『聖獣学園』、『トラック野郎』シリーズ、『忍者芸芸帖 百地三太夫』、『パンツの穴』、『文学賞殺人事件 大いなる助走』など娯楽映画を50本以上監督する。「トラック野郎風雲録」、「東映ゲリラ戦記」など著書も多数。

川崎 東京 群馬 新潟 佐渡 金沢

9月6日(土) 13:00~ひいのき迎賓館

- 13:00~ デコトラ展示開始
- 17:00~ 鈴木則文作品の劇伴DJプレイ
- 18:00~ トークショー
- 19:30~ 『トラック野郎 度胸一番星』上映
上映後にトラックナイトシーン

※スペースが無いため、トラックでの来場は固くお断りします。
 ※芝生に座ってご覧いただくため、敷物の持参をお勧めします。
 ※雨天決行。

会場で
 特製カレー、
 生ビール、たこ焼き
 アイスコーヒーの
 販売あり。



入場無料!

展示デコトラ 一番星号、達磨大師、やもめのジョナサン号、第三夜桜丸、小桜丸、美咲嬢、竜神丸、三代目桜花丸、夢特急

特別協力: 田島順市会長 全国デコトラ協会
 協力: 齋藤哲也、トラックアート歌麿、北誠会

トークゲスト 澤井信一郎監督
 田島順市会長
 杉作J太郎

DJプレイ DJふるさと
 a.k.a. Joymen



澤井信一郎
 1938年静岡県生まれ。61年に東映入社、81年に『野菊の墓』で監督デビュー。主な作品に『Wの悲劇』(84)、『早春物語』(85)、『仔犬ダンの物語』(02)、『蒼き狼 地果て海尽きるまで』(07)。『トラック野郎』シリーズの脚本と助監督を務めた。



杉作J太郎
 1961年愛媛県生まれ。漫画家・俳優・タレント・ミュージシャン・ライター・映画監督。「男の墓場プロダクション」代表。編著に「映画『トラック野郎』大全集」、「トラック野郎 浪漫アルバム」がある。



映画公開後、モデルとなった相長が映画と同じシチュエーションで殺害された伝説の**実録やくざ映画『北陸代理戦争』**。関係者への直接取材と緻密な脚本分析で、その真実に迫る**迫真のドキュメント!**

映画 奈落
 北陸代理戦争事件
 伊藤彰彦

「仁義なき戦い」を超えようとした脚本家、山口組No.2の肩を越そうとした極道、二人の男が出会った時、映画の(奈落の)口が開いた……

定価本体2400円+税 国書刊行会 GOSHO-KAN

トラック野郎 FOREVER!
 トラック野郎 Blu-ray BOX 1・2 [初回生産限定] 好評発売中

BOX1 27,000円+税
 BOX2 26,000円+税

則文監督ありがとう!

※初回生産限定につき、品切れの場合はご了承ください。
 東映株式会社 東映ビデオ株式会社 最新情報をチェック! <http://www.toei-video.co.jp/> © 東映

あの名作を爆音上映で

text by 樋口泰人 (映画評論家/爆音映画祭プロデューサー)



爆音上映とは、通常の映画用の音響セッティングではなく、音楽ライブ用の音響セッティングをフルに使い、ボリュームも限界まで上げ大音響の中で映画を見・聴く試みです。一般劇場上映では聴くことの出来ない迫力と、その爆音によって視覚までもが変容して映画そのものも違って見えるトリップ感覚、そしてまた、大音響でなければ聴こえない幽かな音を聴くという、大胆かつ繊細な上映となります。もちろん「爆音」とは言っても音を大きくするだけではありません。その映画にとって最適な音とは何か、その音があることによって映画が違って見えてくる

それぞれの映画における音の核心はどこにあるのか？ そんな映画におけるベストな音の探求こそ、爆音上映の醍醐味です。映画にとっての最良の音、最適な音が爆音上映にはあります。その大音響の中で、かつて見たことのある映画がまったく新しい映画として蘇ってくる、いわば〈映画の再生〉の瞬間に立ち会える喜びを、多くの人と分かち合いたいと考えます。映画の本質である映像と音を効果的に活かした作品を幅広く選択し、観客の皆さんとともに考える場として、世界中を見渡しても他に例を見ない上映方式といえます。

●全作品デジタルリマスターによる高画質、高音質のデジタル上映です。



ブラックホーク ダウン

BLACK HAWK DOWN

2001年/アメリカ、イギリス/145min/カラー/シネスコ/英語・日本語字幕 監督:リドリー・スコット 音楽:ハンス・ジマー
出演:ジョシュ・ハートネット、ユアン・マクレガー、エリック・バナ、オーランド・ブルーム、トム・サイズモア、サム・シェパード

1993年にソマリアで起きた「モガディシユの戦闘」を描いた作品。アイディード将軍の武装勢力と合衆国タスクフォースの死闘がゲップが出るほど描かれている。その極限の市街地戦闘の表現はある種の到達点に達している。こんな戦争があつたなんて、この映画がなければ

誰も知らなかっただろう。映画の力を実感できる傑作だ。(解説:戦争映画中央評議会)

Uボート

ディレクターズ・カット
DAS BOOT

ご鑑賞には1回券が2枚必要です

1981年/西ドイツ/208min/ピスタ/ドイツ語・日本語字幕
監督・脚本:ウォルフガング・ペーターゼン
音楽:クラウス・ドルディンガー
出演:ユルゲン・プロホフ、ヘルベルト・グリュネマイヤー、クラウス・ヴェンネマン、ベルント・タウパー、オットー・ザンダー

第二次大戦中のドイツ海軍潜水艦Uボートの熾烈な戦いを描いた作品。敵艦のスクルー音、ソナー音、爆雷音、限界まで潜行し水圧で艦がきしむ音、そして息を潜める沈黙にいたるまで、優れた「音」使いで極限の緊張状態を演出した。その過剰なまでの緊迫感ほぼホラー映画。巨大な現実を前に、祖国は助けちゃくれない。(解説:戦争映画中央評議会)

レッドオクトーバーが原潜ならこちらは第二次大戦中のオールドタイプの潜水艦。汗と油の匂いがする。音もまた同様で、猥雑なパーティ、潜水艦の駆動系の機械音、そして何よりも、潜水時の艦の軋み。乗組員たちにとっては命の軋みともされるその音を、何度も何度も息をひそめて聴くことになるだろう。[樋口]

爆音潜水艦映画



爆音戦争映画

トゥルー・ロマンス

TRUE ROMANCE

1993年/アメリカ/121mn/シネスコ/英語・日本語字幕
監督:トニー・スコット 脚本:クエンティン・タランティーノ
音楽:ハンス・ジマー 出演:クリスチャン・スレイター、パトリシア・アークエット、デニス・ホッパー、クリストファー・ウォーケン、ヴァル・キルマー、ゲイリー・オールドマン、ブラッド・ピット、トム・サイズモア



爆音スコット兄弟

コミックショップで働くクラレンスは、オールナイトの映画館で可愛いアラバマと出会う。二人はたちまち恋に落ちるが、彼女には悪いポン引きがついていた。憧れのエルヴィスに忠告され(妄想)、ポン引きを殺したクラレンスはアジトから彼女の荷物を持ち帰るが、その中には大量のコカインが……。カリフォルニアに向かう二人、コカインを追うマフィア、危険な逃避行が始まる。オールスターキャストで描くセックス・ドラッグ・バイオレンスに彩られた90年代を代表するラブストーリー。

冒頭からエルヴィスです。音楽に人生を狂わされた者たちの物語と言ってもいい。その上トラック、列車が必要以上に画面を遮り、美しすぎる音楽の物語を凶暴に断絶する。そしてもう呆れるばかりのローラーコースター、ローラーコースター、ローラーコースター！ 映画史上最強の乗り物シーンがここにある。[樋口]

爆音キューブリック

THE SHINING

シャイニング

1980年/アメリカ、イギリス/119min/ビスタ
/英語・日本語字幕 監督・脚本:スタンリー・
キューブリック 原作:スティーヴン・キング
出演:ジャック・ニコルソン、シェリー・デュバル



人里離れたホテルで一冬を管理人として過ごすことになった一家三人。小説家志望の父親が狂いだし、家族を襲い始める。そのホテルには悪霊が蠢めいていたのだ……。双子の少女、腐乱する老婆、廊下に溢れ出す血、神経症的なシェリー・デュバルの顔、発狂したジャック・ニコルソンの顔、リゲティの不協和音。神経を逆撫でる音響やイメージが観客に襲いかかる!

とにかく最初から狂った電子音が鳴り響く。まるで映画の物語に寄り添う美しい映画音楽のようでありながら、実際どこまでも狂っていて、それが常に、別の場所、別の時間への扉を開け続ける。雪で閉ざされたホテルの遮断された視界は、しかし音楽によってどこまでも広がる。アイズ・ワイド・シャット! [樋口]

FULL METAL JACKET

フルメタル・ジャケット

1987年/アメリカ、イギリス/117min/ビスタ/
英語・日本語字幕 監督:スタンリー・キューブリック
音楽:ヴィヴィアン・キューブリック
出演:マシュー・モディーン、R・リー・アーメイ、
アダム・ボールドウィン、ヴィンセント・ドノフリオ



「目玉えぐって頭蓋骨マンコしてやる!」……アメリカ海兵隊が、ベトナム戦争へ向かう新兵に求めたものとは……どんな馬鹿げた命令にも無言で従う殺人マシーン“BORN TO KILL”となることだった。血で血を洗う殺戮の戦場で人間らしさは何の役にも立たなかったのだ。キューブリック特有のブラックユーモアと背筋が凍るような戦慄が混在する、戦争映画史上屈指の名作。(解説:戦争映画中央評議会)

先ずは人の声に驚かされる。映画前半のほとんどは、教官の罵声が場内に轟きわたることになるだろう。それですっかりこちらも人格破壊されるはずだ。そこからがこの映画の醍醐味。一旦破壊された人格が聴くのは、どんな音なのか。射撃音や爆発音も、かつて聴いたことのないものになっているに違いない。[樋口]

スターシップ・トゥルーパーズ

1997年/アメリカ/129min/ビスタ/英語・日本語字幕
監督:ポール・バーホーベン 脚本:エド・ニューマイヤー
音楽:ベジル・ポールドウリス 原作:ロバート・A・ハインライン
出演:キャスパー・ヴァン・ディーン、ディナ・メイヤー、マイケル・
アイアンサイド、ジェイク・ビジー

「戦争だ! 戦争が始まったぞ!」「奴らが先に仕掛けてきた!」「殺せ! 殺せ! 殺せ! 奴らは虫だ、容赦するな!」「臆病者は味方には必要ない! 銃殺刑だ!」「敵には慈悲をかけるな! 無慈悲な死を!」「空爆だ! 空から死を降らせろ!」「核バズーカ砲で奴らの住処を吹きとばせ!」昆虫型エイリアンと戦争状態に入った地球連邦軍の戦いを壮絶に描く超好戦的戦争超大作。この内容をこの大規模な予算で映画として実現出来たのは90年代の奇蹟である。

あの大量の昆虫たちを殺すために何発の銃弾が発射されたことか。とにかく場内が銃弾まみれになることは間違いなし。そして撃つことにも撃たれることにもうんざりした頃に登場するボス昆虫の恐るべきぬめぬめ感。この圧倒的に不快な感触を爆音がさらに増幅する。想像しただけでおぞましく笑いが止まらず。[樋口]



1991年の日本公開時、もし爆音上映をやっていたら確実に最初から爆音で、という話になっていただろう。エルヴィスからゼム、クリス・アイザックと並ぶ音楽はもちろん、観た人誰もの耳に残るマッチの点火音や、ヘヴィメタ、いきなりの暴発や、血塗れの身体のねちょねちょ音など、聴き所満載の爆音映画。[樋口]

ワイルド・アット・ハート

WILD AT HEART

1990年/アメリカ/125min/シネスコ/英語・日本語字幕
監督・脚本:デヴィッド・リンチ 原作:バリー・ギフォード
音楽:アンジェロ・パダラメンティ 出演:ニコラス・ケイジ、ローラ・ダーン、ウィレム・デフォー、イザベラ・ロッセリーニ、ハリー・
ディーン・スタントン、クリスピン・グローヴァー

愛し合うセイラーとルーラーの二人は、偏執狂的なルーラーの母親から一方的な恨みを買われ、執拗に狙われる。逃げる二人はカリフォルニアを目指す、道中で様々な奇妙な人物や事件に出くわすのだった……。マッチの炎のイメージ、エルヴィス・プレスリー、真夜中の交通事故、破裂する頭部、不思議の国のアリス。シンプルなラブ・ストーリーを過剰かつ美しいイメージの連続で描く。夢幻的なシーンでクリス・アイザックの劇中曲“WICKED GAME”が効果的に使われる。

爆音リンチ

ERASERHEAD

イレイザーヘッド

1977年/アメリカ/89min/スタンダード/英語・日本語字幕
監督・脚本:編集・美術・特殊効果・音響:デヴィッド・リンチ
出演:ジャック・ナンス、シャーロット・スチュワート、アラン・ジョゼフ、
ジーン・ベイツ



爆音エルヴィス



FLESH+BLOOD

フレッシュ+ブラッド

1985年/アメリカ、オランダ、スペイン/128min/シネスコ/英語・日本語字幕 監督:ポール・バーホーベン 脚本:ジェラルド・ソエトマン 撮影:ヤン・デ・ボン 出演:ルトガー・ハウアー、ジェニファー・ジェイソン・リー、トム・パーリンソン

中世ヨーロッパ、傭兵団が賃金を支払わない領主に反乱を起こし、王女を人質にして城に立て籠もる。しかし、その王女は一筋縄ではいかない女だった。王女に翻弄される傭兵団と王子。モラルなし、自らの欲望に忠実な者が勝利する善悪の区別ない世界を過剰なバイオレンス描写、性描写で描く。初ハリウッド進出の本作は日本では劇場未公開だったが、ノーカット版で初公開！（旧題:グレート・ウォリアーズ）

SPEETTERS

スペッターズ

1980年/オランダ/122min/ビスタ/オランダ語・日本語字幕 監督:ポール・バーホーベン 脚本:ジェラルド・ソエトマン 出演:ハンス・フォン・トングレン、レネ・ソーテンダイク、ルトガー・ハウアー

オランダのロッテルダムでバイクのロードレースチャンピオンを目指す若い三人の男たち。地元のレースに優勝し、順風満帆かのように思えたが、そこに一人の女が現れた。彼女の出現をきっかけに運命の歯車が狂い始める。その後、ハリウッドで活躍することになる鬼才ポール・バーホーベンの表現規制一切なしの過激なオランダ時代の作品。日本では劇場未公開だったが、ノーカット版で初公開！



爆音 暴走映画

SORCERER

恐怖の報酬

1977年/アメリカ/121min/ビスタ/英語、スペイン語・日本語字幕 監督:ウィリアム・フリードキン 音楽:タンジェリン・ドリーム 出演:ロイ・シャイダー、ブルーノ・クレメル、フランシスコ・ラバル、アミドウ、ラモン・ビエリ

南米の油田で起きた大火災。この炎を消火できるのは、僅かな衝撃で大爆発を起こすニトロの爆風のみだった。多額の報酬を目的に4人の男たちがトラックでニトロを運搬する。汗と血と油にまみれたリアリズム描写で『エクソシスト』『フレンチ・コネクション』のウィリアム・フリードキンがクルーゾー版をリメイク。ノーカット版で初公開！

使われている火薬の量が違う。いやその爆発を更に燃え立たせる油の量が違うと言うべきか。爆発シーンだけではない。画面の至る所から油と工作機械の匂いがする。音の中にも油が充満している。血と汗と涙の音。コンピュータで映画が作られ始めるまでは、さまざまな映画からこんな音と匂いがしたのだ。[樋口]



爆音 バーホーベン

LOST HIGHWAY



デヴィッド・リンチが少数の協力者と共に5年の歳月を費やして完成させた長編映画処女作。煉獄を思わせる陰鬱な工場街を舞台に、異形の新生児を軸として、不条理で超現実的な物語が展開、随所に黒いユーモアも溢れる。若き日のリンチの脳裡に巣食っていたヴィジョンが具現化されたものといえ、以降の作品の原基はほとんどすべてここに存在している。そのモノクロームの映像は、精緻な音響設計を伴って、グロテスクでありながらも甘美な夢の世界をスクリーンに現出させる。(解説:稲生平太郎)

全編がほぼノイズ！ 映画を観るというよりノイズの中にいるという感じ。そのノイズの中に時折浮かび上がる映像を、視覚がキャッチする。音が映像を補足するのではなく、音が映像に先行してあって、映像が無理矢理引きずり出される。リンチの映像の源としての音がこの映画の中に浮遊し、充満している。[樋口]

ロスト・ハイウェイ

1997年/アメリカ、フランス/135min/ビスタ/英語・日本語字幕 監督・脚本:デヴィッド・リンチ 音楽:アンジェロ・バダラメンティ、トレント・レズナー 出演:ビル・プルマン、パトリシア・アークエット、バルサザール・ゲティ、ロバート・ブレイク、ジャック・ナンス、ゲアリー・ビジー

「ディック・ロラントは死んだ」—自宅のインターホンに出たフレッドは、謎のメッセージを聞いた。ある夜のパーティで、謎の男が現れて告げる。「私は今あなたの家にいますよ……」混乱したまま家に戻ると一本のビデオテープが。そこには妻をバラバラに切り刻む彼の姿が映っていた……。中盤から物語の整合性が崩れ混乱するが、迫力の映像と音響で押しきる脂の乗った90年代リンチの力技！

全編がむきだしのノイズ&カオスの中にある『イレイザーヘッド』に比べて、この映画の音はそのノイズとカオスの洗練の極みと言ったらいいだろうか。音のレンジも広い。スクリーンを見つめる観客の目の前で囁くような声から、劇場全体が震えるような歌まで、爆音はその閉ざされた隅々まで浸透していく。[樋口]



MAD MAX 2

マッドマックス2

1981年/オーストラリア/95min/シネスコ/英語・日本語字幕 監督:ジョージ・ミラー 製作:パイロン・ケネディ 音楽:ブライアン・メイ 出演:メル・ギブソン、ブルース・スペンス、ヴァーノン・ウェルズ

文明崩壊後の近未来オーストラリア。「石油をよこして、立ち去れ！」荒野の帝王ヒューマンガス率いるならず者軍団に狙われた平和なコミュニティは、流れ者マックスを味方につけ逆襲を開始する。石油が唯一の価値を持つ無法の世界で繰り広げられる壮絶なスピードの改造自動車バトル、安全性無視の非人道的

カースタントはシリーズ最高傑作の本作ではさらに激しくなっている。

キーを回す、アクセルを踏む、エンジンが回転し、マフラーから排気ガスが噴出される。たったそれだけの音を想像しただけで身体が震える。その震えが場内を満たす。とにかく最初から最後まで震えっぱなし。そんな上映になること間違いなし。[樋口]



稲生平太郎 × 高橋洋 × 塩田明彦

映画の生体解剖 ×

妄想と理性がぶつかる最先端の映画論バトル!

映画術

映画の生体解剖ビヨンド

2014年/日本/時間未定 監督・編集:高橋洋 協力:稲生平太郎

対談集「映画の生体解剖」に触発された高橋洋が、映画に描かれた「人種差別」、「憎悪・殺人・復讐」、「植民地恐怖」、「テロ」などをテーマに古今東西のあらゆる作品からモンタージュを展開する。



稲生平太郎



高橋洋

撮影:ヤスダ・アキオ



塩田明彦

9/15(月・祝) 12:30 開演

※1回鑑賞券でご鑑賞いただけます。

前半:『映画の生体解剖ビヨンド』上映
後半:トークバトル

稲生平太郎(横山茂雄)

1954年大阪生まれ。奈良女子大学教授。著書に幻想小説「アクアリウム」および「アムネジア」、UFO、オカルト論「定本 何かは空を飛んでいる」、高橋洋との対談集「映画の生体解剖」など。横山名義の著書、訳書としては「聖別された肉体」、「異形のテキスト」、「ヴィクトリア朝の寝椅子」など。

高橋洋

1959年千葉県生まれ。早大シネマ研究会で8ミリ映画の制作に没頭する。その後は多彩なジャンルの劇場映画とVシネマを手がけ、『女優霊』(96)の脚本を担当。そして『リング』シリーズの脚色で大ヒットに貢献。監督作品として『ソムの市』(04)、『狂気の海』(07)、『恐怖』(10)、『旧支配者のキャロル』(11)があり、著書には「映画の魔」、稲生平太郎との対談集「映画の生体解剖」がある。

塩田明彦

1961年京都生まれ。立教大学在学中より黒沢清、万田邦敏らと共に自主映画を制作する。96年、オリジナルビデオ『露出狂の女』(脚本:高橋洋)を撮り、高い評価を得る。『害虫』(02)でナント三大陸映画祭審査員特別賞を受賞。また『黄泉がえり』『どろろ』は興収30億を超える大ヒットを記録。最新作は『抱きしめたい』(14)。著書に「映画術・その演出はなぜ心をつかむのか」がある。

一般公募自主映画作品の中から有望な5作品をチョイス。審査員賞にはカナザワ映画祭永久V.I.P.パスを進呈



瘡蓋譚

2013年/日本/39min

出演:加門功、花岡美喜子、上田正
製作:河瀬直美

監督・脚本・編集:上野遼平(1996年生まれ。中学時代に撮った自主映画で映像に目覚める。現在高校在学中)

妻の体の瘡蓋を食べる夫。妻はそんな夫に答えることに悦びを感じる。しかし、罪悪感を感じる夫。二人は互いを愛すれば愛する程すれ違ってゆくのだった……。現役高校生による変態ラブストーリー。



オールドフレンド

2013年/日本/68min

出演:椎名琴音、秋月三佳、小池ありさ、毛利悟巳

監督・脚本:内田裕基(1991年生まれ。高校時代より自主映画を制作し、大学在学中に脚本家デビュー。主な脚本作に『三森迷子の逃亡』、『炎~HOMURA』など)

高校生ミカコの友人カホは学校でイジメにあっていた。そんな彼女の前に、転校生のヒナコという少女が現れるのだが……。彼女には秘密があった。青春少女残酷譚。



SLUM-POLIS

2013年/日本/120min

出演:西村峰龍、アベラヒデノブ、小野亮子、木村知貴

監督・脚本:二宮健(1991年生まれ。幼少の頃から自主映画を作り始める。大阪芸術大学在学中に『大童貞の冒険』、『眠れる美女の限界』などを製作。)

近未来、無法地帯スラムポリスの若者たちはそれぞれの人生と夢のため、スラムを支配するヤクザの麻薬輸送車襲撃計画を企てるが……。卒業制作のレベルを超えた近未来バイオレンス大作!



君を連れて行く、いいよね。

2013年/日本/41min

出演:繁田健治、松井理子、池谷祐子、嶋村綾子、新井加恵、中平良美

監督:繁田健治(1961年生まれ。1981年自主映画製作団体「ときめきチーム」を結成)

君に初めて出会って十年、僕はあつる決断をした……。画面から気迫を感じるほど本気度が強い。これは一種のアウトサイダーアートだ。



NIGHT SAFARI

2014年/日本/60min

出演:赤池由稀也、望月樹、助川寛、高木健史郎

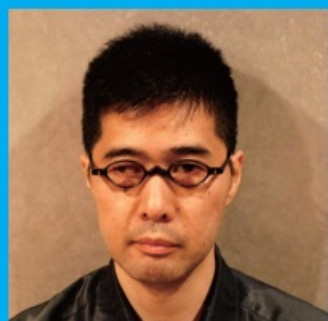
監督・脚本:小林勇貴(1990年生まれ。働きながら、土日に仲間たちと自主映画を作っている)

暴力の街、静岡県富士宮市。強姦事件をきっかけに、不良同士の小競り合いが勘違いからエスカレートする。本物が出演する地方発バイオレンス!

9/13(土) 23:30 開演 前売 2,300円 当日 2,500円

期待の新人オールナイト

審査員



柳下毅一郎

1963年大阪生まれ。東京大学工学部卒業。英米文学翻訳家・映画評論家・殺人研究家。訳書にR・A・ラファティ「第四の館」、アラン・ムーア/J・H・ウィリアムズIII「プロメテア1」など。著書に「新世紀読書大全」、「皆殺し映画通信」など。編書に「女優林由美香」がある。



田野辺尚人

1965年横浜生まれ。学生時代よりライター稼業の傍ら藤原章、園子温といった監督たちの映画製作をサポート。「現代詩手帖」編集部を経て、1995年に町山智浩指揮のもと「映画秘宝」を立ち上げ、10年間、編集長を務める。現在、「別冊映画秘宝」編集長。

特別企画



カナザワ映画祭 2014 古本市 by オヨヨ書林

日時: 9.13(土)-15(月) 10:00~19:00
場所: 金沢都ホテル セミナーホール前

映画祭会場前にオヨヨ書林の古本販売コーナーが登場。映画パンフレット100円均一コーナーをはじめ、映画・音楽・芸能一般・サブカルチャー・雑誌パンフレットなどを中心に販売いたします!! 掘り出し物もありますよ。



OYOYOSHORIN
お問合せ: 076-261-8339

★9月13日(土)～15日(月・祝) 会場前にて古本市開催

9
12
(金)19:00
恐怖の報酬
(121min)

9 13 (土)	11:00 ブラックホーク・ ダウン(145min)	14:00 マッドマックス2 (95min)	16:00 ※1回券2枚必要 U・ポート(208min) 途中10分間の休憩あり	20:20 トゥルー・ロマンス (121min)	23:30 期待の新人 オールナイト
9 14 (日)	11:20 スペッターズ (122min)	13:40 フレッシュ+ ブラッド(128min)	16:10 スターシップ・ トゥルーパーズ(129min)	18:40 フルメタル・ ジャケット(117min)	21:10 シャイニング (119min)
9 15 (月・祝)	10:00 ワイルド・アット・ ハート(125min)	12:30 映画の生体解剖 ×映画術	14:50 イレイザーヘッド (89min)	16:40 ロスト・ハイウェイ (135min)	●期待の新人オールナイト オールドフレンド(68min) NIGHT SAFARI(60min) 瘡蓋譚(39min) SLUM-POLIS(120min) 君を連れて行く、いいよね。(41min)

TICKET

■ 1回鑑賞券 前売 1,300円
当日 1,500円

■ 期待の新人オールナイト
前売 2,300円
当日 2,500円

【ご注意】

●1回鑑賞券は各作品ごとに販売します。●チケットの変更、払い戻しはいたしません。●『U・ポート』のご鑑賞には1回鑑賞券が2枚必要です。●トークイベントも1回鑑賞券でご覧いただけます。

SUPPORT

かなざわ映画の会サポーター募集のご案内

かなざわ映画の会の趣旨と志に賛同し、活動を支援していただくサポーターを募集しています。みなさまからの支援が、かなざわ映画の会の活動を支えます。ご協力をお願い致します。

サポーター賛同金:10,000円(一口)

- 「カナザワ映画祭2014」ポスターと1回鑑賞券2枚を進呈いたします。
- 「カナザワ映画祭2014」の会場に優先入場いただけます。
- お名前を「カナザワ映画祭2014」ホームページでご紹介致します。(希望者のみ)

申し込み・支払い方法

①直接支払の場合

9月13～15日に、金沢都ホテル・セミナーホール前受付までお申し出ください。

②銀行振込の場合

氏名、住所、電話番号を、かなざわ映画の会サイト内申し込みフォームかFAX(076-287-6628)でお知らせください。お支払いは、下記の口座にお振り込み下さい。振込手数料はご負担いただくよう、お願い致します。

北國銀行 犀川中央支店

普通 251790

かなざわ映画の会 代表 小野寺生哉

三菱東京UFJ銀行 金沢支店

普通 0707732

かなざわ映画の会 小野寺生哉

CROWD FUNDING

鈴木則文監督追悼野外上映『トラック野郎』&デコトラ展示は無料イベントのため、資金が不足しております。皆さまのご支援をお願いいたします。

<https://motion-gallery.net/projects/kanazawaeiganokai> ※8/10(日)まで

チケット取扱:シネモンド/かなざわ映画の会サイト内注文フォーム(www.eiganokai.com)

- 主催:かなざわ映画の会
- 特別協力:金沢都ホテル
- 協力:金沢フィルムコミッション、シネモンド
- 音響協力:樋口泰人(boid)
- 映写音響装置:モノリス
- 映画祭ロゴデザイン:檜垣紀六
- メインビジュアル:うとまる
- ポスターデザイン:高橋ヨシキ
- サイトデザイン:小高沙里(stereodancer.org)
- 作品提供:KADOKAWA、MORGAN CREEK PRODUCTION、PARK CIRCUS LIMITED、TOUCHST ONE PICTURES、UNIVERSAL STUDIOS、コムストック・グループ、東映
- 解説文:稲生平太郎(横山茂雄)、樋口泰人(boid)、

戦争映画中央評議会(www.adolf45d.com)

■ 後援:石川県興行生活衛生同業組合、北國新聞社

■ 助成:芸術文化振興基金、金沢市

■ 協賛(50音順):欧風食堂ル・マルス、オヨヨ書林せせらぎ通り店/タテマチ店、金澤ちとせ珈琲 香林坊店、株式会社国書刊行会、コラボン、四位例内科クリニック、JO-HOUSE、旬菜焼はざま、shirasagi/白鷺美術、SKANDA、スペイン料理アロス、たこ焼くろ舟、田中昭文堂印刷株式会社、東映ビデオ株式会社、野澤(美容院)、バーゴールデンフィッシュ、

Pub ディラン、ひがし山とみ、ひげの店、ピストロ・ユイガ、ひらみばん、葡萄酒夜、magnolia KZ、memento、メロメロポッチ

■ かなざわ映画の会サポーター2014(入会順):SPEX DOCUMENTARY、田辺望、ksyuk、布やハサミ、挿一刀、ら〜ふえ〜☆ぼ〜いず、ルシフ & ヨシノ、ピター・ダカラン、ここあ、板東弘子、くららがたった、孫家、反町和宏、真睦&馳純、ヴェダコウシ、猫町倶楽部 シネマテーブル、解離性かえるくん、人外魔境地底獣国、松田淳一、マチルダ、peluzeus、川口貴央、古泉智浩、ぴのきお

かなざわ映画の会 TEL&FAX 076-287-6628
info@eiganokai.com www.eiganokai.com

